



さかもとりょうへい  
坂本亮平議員

**観光資源・ふれあい空港を  
航空公園へと転換ができないか**

**議員** 空港を持つことにより市は陸・海・空につながる特色を持つ。特色を強みに変えるため、新たな目線で航空公園へと転換ができれば、いかをたずねる。

**産業部長** 利活用を図ることによって今以上に価値を高め、魅力ある施設として運用し、子供たちに誇れる夢のある空港となるよう探求する。

**議員** 笠岡だからできる事として空と笠岡諸島（日本遺産）を絡めた新しい観光資源になると考えるが見解を求める。

**市長** 空から笠岡諸島を見て笠岡のファンになっていただくことも大事で、付加価値を比較検討しながら積極的に考えていきたい。



**子供たちの安心安全対策は  
学びと両輪で考えるべき！**

**議員** 今後再編することでも園について周辺の安全対策をたずねる。

**こども部長** 利便性や安全性を考え、整備を進めていく。

**議員** 小中一貫モデル校である金浦中学校は浸水エリアでもある。教育手法と両輪で安心・安全も検討しているのか。

**教育部長** 校舎のかさ上げ等や特別警報時の対応等、しっかりと保護者の方に説明をしていきたい。

**議員** 安全対策は金を掛ければよいというだけではなく、ソフトとハード両輪で考え、地域や保護者の声をしっかりと聞き、子供たちが安心して通うことのできる環境をつくってほしい。



くわだ まさあき  
桑田昌哲議員

**山林への太陽光発電  
施設の設置を問う**

**議員** 自然エネルギーを源とする太陽光発電施設の山林への設置について、本市の認識をたずねる。

**市長** 再生可能エネルギーの導入を推進しているが、災害など新たな問題の発生につながるような関係法令等の遵守、地域住民とのコンセンサスを得られるよう設置事業者に求める。

**議員** 太陽光発電施設の県基準以外のものや災害の対応をたずねる。

**市民生活部長** 環境、地域社会、経済の3つが成り立つような形で受け入れられるような形でないと持続可能な地域社会は生まれてこないと思っている。市としても地域の方の不安は拭い去れるように対応していく。



**交流人口と  
観光の活性化を問う**

**議員** 笠岡の観光で道の駅は外せないが、対応場所が固定されており、他の施設への移動が少ないように感じる。自転車も一つのアイテムと考え、様々な現状の状況を踏まえて、観光客の移動なり、二次的波及効果が可能になるか。

**市長** 笠岡湾干拓地を一つのテーマパークとして楽しんでいただけるとような仕掛けづくりを検討する。

**議員** 自転車を使った笠岡の集客も考え、県や他の地域と合同でやるのではなく、市独自のサイクリングロードを考えてもらいたい。

**産業部長** 道の駅を中心として、そこに車を置いて、自転車で廻るルートを検討したい。